

荒茶放射能調査（自主検査）検査費用の一部助成について

静岡県は6月20日、「パリの空港に到着した静岡茶から、EUの基準値を超える放射性セシウムが検出された」との事案について、御前崎市内の事業者がフランスへ輸出用に製造した茶であることを確認したと発表しました。

市では、これらの報道内容や今後の茶業に関しまして、JAハイナンと連携を取るとともに情報の共有化を図るため、対策会議を実施しました。

1 対策会議

(1) 日時

平成 23 年 6 月 21 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで

(2) 出席者

市内茶商の代表者、JAハイナン、市長、産業経済部長 他

(3) 意見等

- ・出荷に伴うロットごとの放射性物質検査は、非常に難しいので、小さい地域を対象に検査を実施し、安全性を確認することが必要である。
- ・お茶を販売する側では、放射能に関する安全証明書などが必要であり、掛川が自主検査を行っているように、素早い対応を実施していただきたい。
- ・消費者にお茶の安全性について信頼をいただけるよう具体的な対応が必要。
- ・自己防衛のため独自で自主検査を実施しているが、風評被害に対しては地域が一体となり取り組んでいくことが重要である。

2 今後の方針

お茶の放射能調査は、県が県内 19 茶産地の二番茶の生葉と荒茶について検査を実施し、検査結果を随時公表しています。

今後においても県の統一検査方針に従い、進めていくことが基本と考えていますが、市に対しても日々変わる茶業状況に的確に対応し、風評被害に陥らないような対応が強く求められております。

したがって、茶産地として更なる安全性を確保するため、各荒茶工場で自主検査を実施する場合に、次のとおり検査費用の一部を助成することといたします。

3 検査費用の一部助成

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| (1) 対象検査 | 市内荒茶工場における放射能調査（自主検査）の 1 回分 |
| (2) 対象検体 | 平成 23 年産の二番茶荒茶の本茶 |
| (3) 検体取りまとめ | JAハイナン茶業センター「茶ぐりん」 |
| (4) 検体提出期限 | 平成 23 年 6 月 30 日（木）までに提出された検体 |
| (5) 助成金額 | 検査費用の 1 / 2 で 10,000 円を上限 |
| (6) 助成実施者 | 牧之原市茶業振興協議会 |